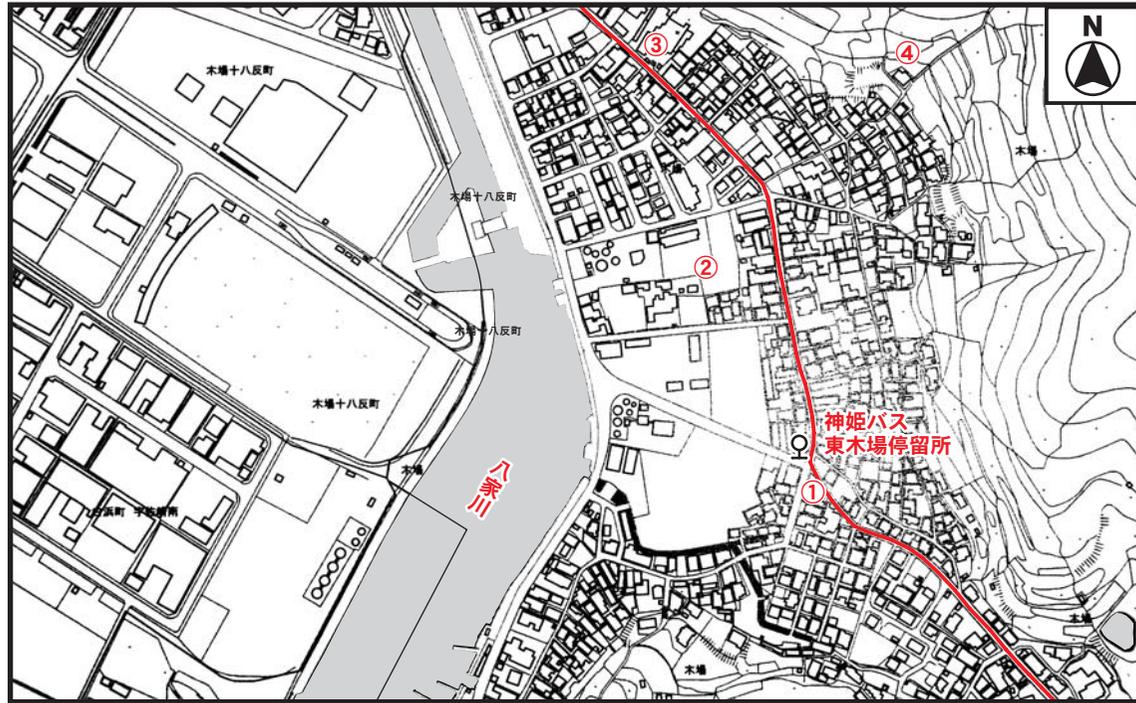
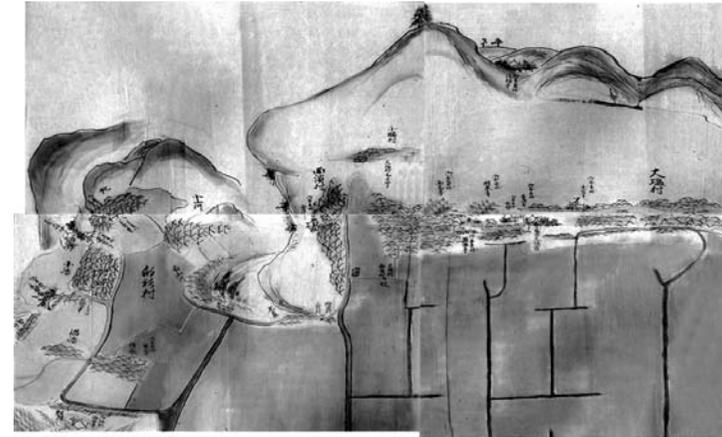


- ①道標(正面:右地そう道 左そねの松)
- ②福泊神社(室町後期の本殿は市指定文化財、東隣は旧別当寺真言宗神宮寺跡、西側は旧印南郡・飾東郡境、旧的形庄・松原庄境)
- ③若宮神社(応神天皇)
- ④袖もぎ地藏(貞治3年(1364)石棺仏)
- ⑤福泊構居跡
- ⑥小赤壁(仁寿山校に招聘された頼山陽の命名という)
- ⑦木庭神社(元和元年(1615)創建、夏祭に紙鳥居を建立)
- ⑧木庭山古墳(古墳時代後期の横穴式石室)
- ⑨波切不動尊
- ⑩紙鳥居建立礎石



- ①大正14年(1925)道標(正面:右木場湊 左高砂 曾根 大塩 的形 左側面:飾磨 白浜 妻鹿)
- ②前六反浜(塩田)跡
- ③正福寺(浄土真宗本願寺派、享祿4年(1531)道円開基、正徳3年(1713)木仏寺号)
- ④高山稲荷大明神

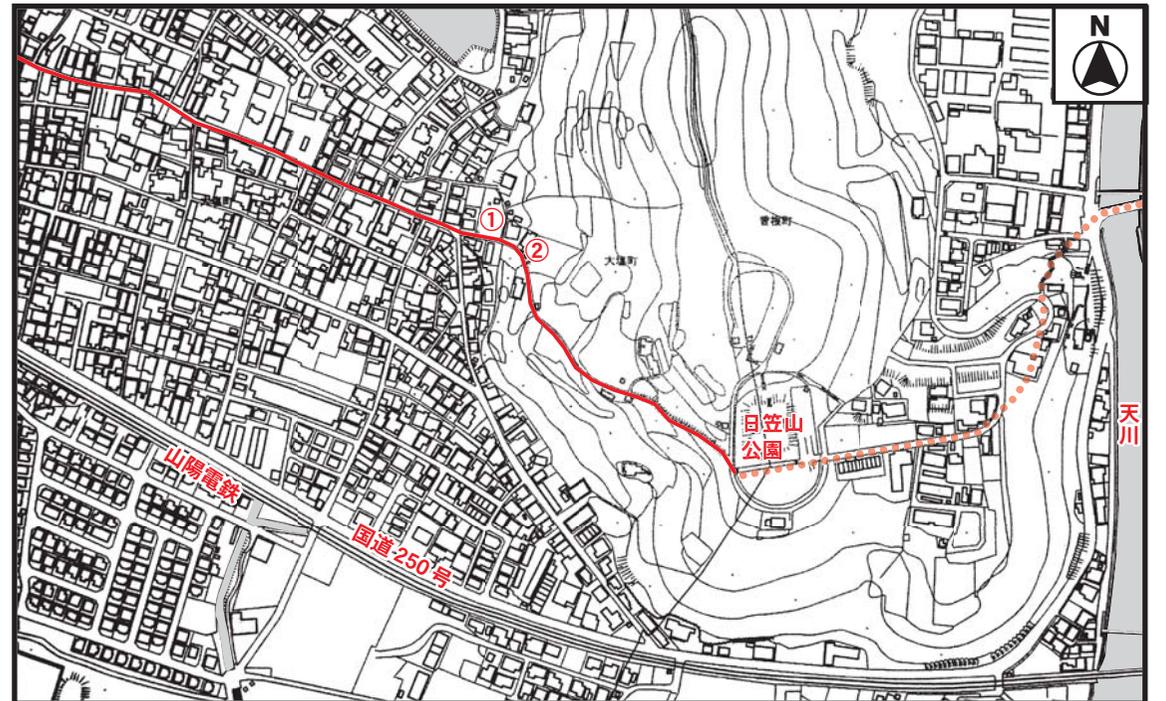
# 『浜街道』をたずねて その1



「浜街道」は「高砂・室津・飾万津往還」「室津・高砂往来」「高砂・飾万津への道筋」「灘道筋」「灘通り」「灘筋往還」とも呼ばれ、明石大観橋で西国街道から分岐し播磨灘沿岸沿いに室津まで至ります。姫路藩内の「高砂町」「飾万津町」「室津町」を繋ぐ重要陸路であるとともに沿道の名所旧跡と白砂青松でも著名であり「曾祢の松」「高砂相生の松」

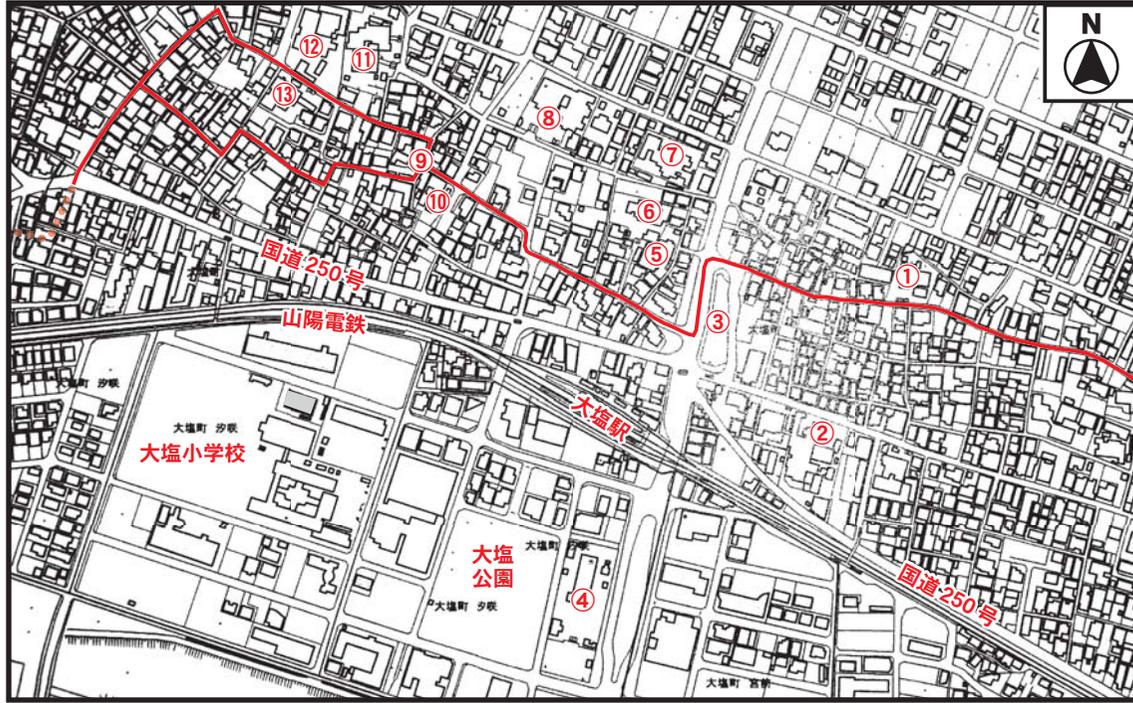
「尾上の松」などの名松めぐりも盛んでした。しかし江戸時代後半より沿岸部は盛んに新田・塩田の埋め立て開発が行われており、上図(伊能忠敬資料館蔵「大塩村的形村絵図」)に見るように大塩村・的形村の沿岸は広大な塩田が広がっています。

浜街道ルートは赤実線(——)、推定は破線(-----)で示します。  
沿道の文化財は赤丸数字(①②...)、主な国道・河川・交差点やバス停等は赤字で記します。



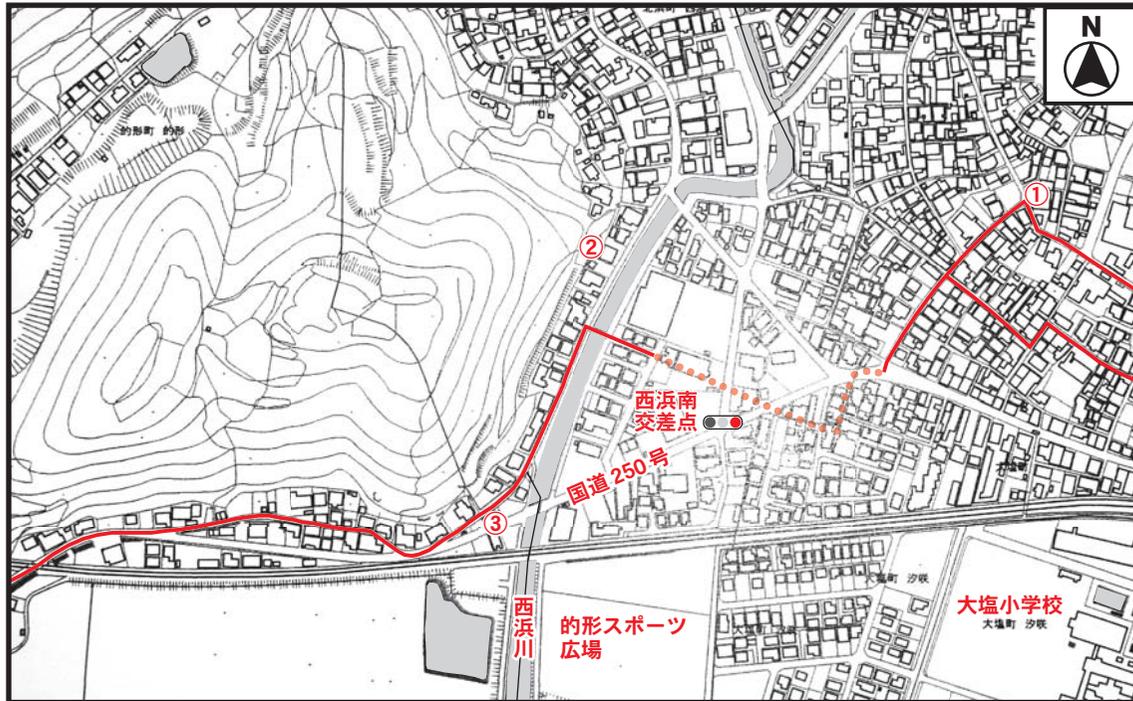
- ①岩神社と菅公腰掛岩
- ②寛政9年(1797)延命地藏

< 図 2 >



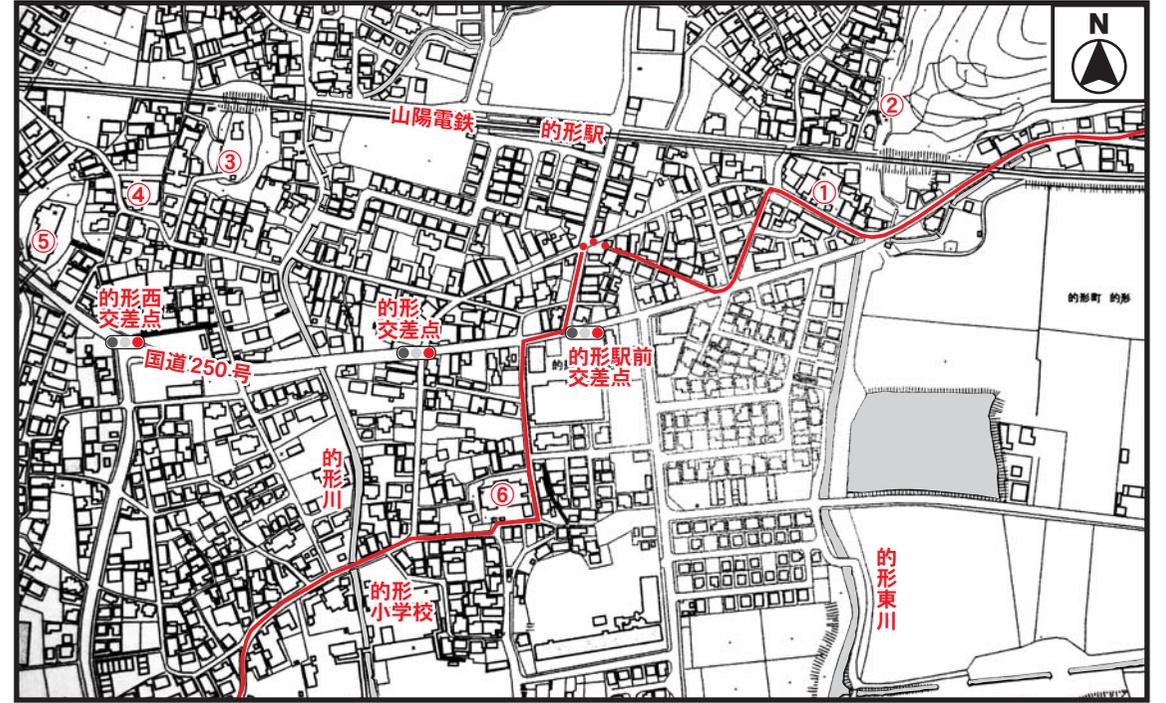
- ① 円龍寺(浄土真宗本願寺派、正徳2年(1712)道喜開基、翌年木仏寺号)
- ② 梶原家住宅(西梶原、国登録文化財・姫路市指定文化財)
- ③ 大塩天満宮旧地
- ④ 大塩天満宮(旧大塩・小林・北脇・牛谷・西浜村の総鎮守、県指定「大塩天満宮獅子舞」奉納)
- ⑤ 養源寺(真宗大谷派)
- ⑥ 妙経寺(日蓮宗)
- ⑦ 梶原家住宅(中西梶原、国登録文化財)
- ⑧ 明泉寺(浄土真宗本願寺派、元和7年(1621)木仏寺号、大永2年(1522)以前天台宗大養寺)
- ⑨ 道標(正面：右左 ひめぢ やかぢぞう しかまつ道、右側面：右そね たかさご かこ川)
- ⑩ 潮照寺跡(旧大塩天満宮神宮寺)
- ⑪ 西光寺(浄土宗西山禅林寺派)
- ⑫ 山本家住宅(正徳3年(1713)建立という)
- ⑬ 赤鹿家住宅(旧山本家前新宅)

< 図 3 >



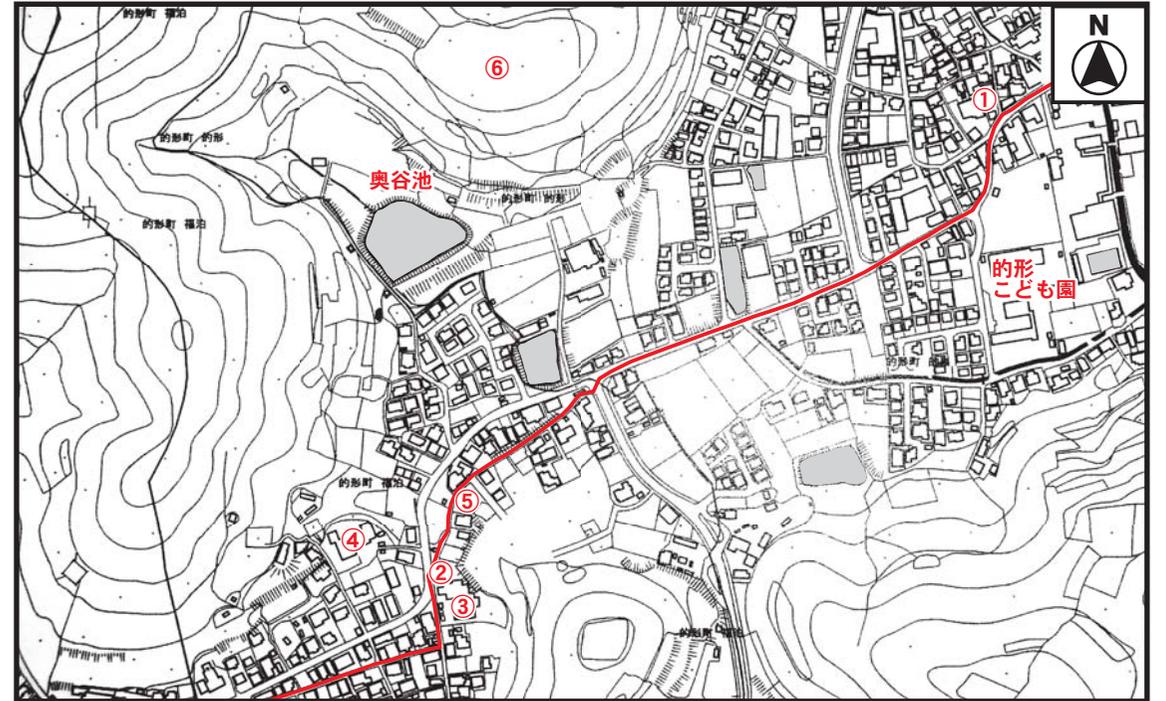
- ① 大塩村道路元標
- ② 春姫大神
- ③ 岩鼻地藏尊

< 図 4 >



- ① 常念寺(浄土真宗本願寺派、天文2年(1533)教証開基、寛永17年(1640)木仏寺号)
- ② 石森天王
- ③ 八幡神社(もとはの形湊の入江中央の島、湊神社御旅所)
- ④ 顕証寺(浄土真宗本願寺派、天文4年(1535)道証開基、寛文3年(1663)木仏寺号)
- ⑤ 円光寺(法華宗真門流、東麓に永和3年(1377)石棺仏)
- ⑥ 善正寺(浄土真宗本願寺派、天文3年(1534)浄味開基、天和2年(1682)木仏寺号)

< 図 5 >



- ① 岩神社
- ② 道標(正面：右ぢぞう道 左曾根高砂、右側面：しかまむろ すぐぢぞう道、左側面：当所辰年男)
- ③ 養泉寺(浄土真宗本願寺派、明応8年(1499)養泉開基、天文6年(1537)木仏寺号、鎌倉後期の五輪塔)
- ④ 福円寺(臨済宗相国寺派、伝行基開基、鎌倉後期の石棺仏)
- ⑤ 化粧坂(けわいさか、的形から福泊への旧坂道)
- ⑥ 的形(赤坂山)構居跡